

## 令和5年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

### ■調査概要

助成団体	山形県
事業細目名	身体・運動能力特性に基づくタレント発掘・育成
事業名	山形県スポーツタレント発掘事業
助成金額	6,400,000 円

### ■調査内容

令和5年度将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成を受け、山形県が行っている「山形県スポーツタレント発掘事業」の実施状況調査を行いました。

山形県では優れた素質を有する競技者の発掘を目的として、各競技団体等と連携し世界で活躍するトップアスリートの育成を目指しています。事業を継続して実施した結果、本事業の修了生が近代3種競技「近代2種3種世界選手権大会」の2種 MIX リレー、3種 MIX リレー及び男子個人2種において2位の他、ホッケー「女子ジュニアワールドカップアジア予選」において3位になるなど、世界の舞台で活躍する選手を輩出しています。大学のアドバイザーや、県競技団体及び中央競技団体等との繋がりとアドバイスの基で事業を実施できていることが輩出の成果に繋がっているとのことでした。

今回の調査では、小学3・4生を対象とした運動プログラム（ハンドボール）を視察し、45名の参加者が山形県ハンドボール協会の指導者の基ハンドボールの基礎練習を中心に真剣に取り組んでいました。また、プログラム後の昼休憩では、アドバイザーや実行委員として支援を受けている仙台大学から招集した講師による栄養管理の講習会を昼食前に行い、栄養に関する理解を深めながら食事をとる等、実技以外の面でも事業を工夫して実施していました。

助成金を活用することで、オリンピックの講習・実践指導や各プログラムでトップアスリート及び指導者を招集し、より質の高いプログラムを実施することができています。さらに競技力の面だけではなく、オリンピックを身近に感じられることで参加者の競技に対する意識・モチベーションや人間力の向上にも繋がっており、子供たちのさらなる競技力向上と発掘育成事業の発展へ助成金が活用されていました。

今後も、スポーツ振興くじ助成金が効果的に活用され、世界の舞台へのステップアップを目指すジュニアアスリートのサポートや、様々な競技にチャレンジしやすいシステム構築に繋がることを期待しています。

（令和5年11月18日往査）

(写真) 山形県スポーツタレント発掘事業の様子

